

売却価格：売却済み

海上走行動画を掲載しました！是非ご覧ください。



基本情報

船種	地場造船（石巻ヨット工作所）釣船 52ft（サイズ：52ft）		
サイズ(船検証)	全長：11.93m 全幅：3.51m 全深：1.32m		
進水年月日	1987(昭和62)年6月	製造年式	1987(昭和62)年
航行区域	限定沿海（20海里）	定員	13人
船底塗装歴	あり	次回船検	本検査(2026年02月19日)
清水タンク容量	—	保管状態	係留
取材	あり	出品エリア	宮城(北海道・東北)

エンジン関連

メーカー	ボルボ	エンジン型式	TAMD163
燃料種類	ディーゼル	搭載数	1基
船検証記載馬力	655馬力 / 2,035rpm(回転数)	推進機器種類	シャフト船
巡航速度(参考)	約17ノット	最高速度(参考)	—
燃費/時間当り(参考)	—	燃料タンク容量	約1,200リットル

※上記に表示されたモデル名・サイズ年式・エンジン仕様・エンジン馬力・燃料種類・速度・燃費などの数値は、中古艇ドットコムで確認を取ったものではありません。オーナー様からいただいた情報を基に記載しておりますが、オーナー様の記憶違いや勘違いの可能性もありますので、あくまでも、参考までにご覧いただき、最終的には自己判断にてご購入をお決め下さい。

※使用時間は、メーターの表示時間を記載しております。あくまでもメーターの表示時間ですので、実際の使用時間を補償するものではありません。

※巡航速度・最高速度に関しては、オーナー様からお聞きした速度を記載しておりますが、オーナー様の記憶違いや、船の状態により記載されたスピードが出ない可能性もあります。あくまでも参考までにご覧下さい。燃費やタンク容量などの数値に関しても同様です。

備品情報

航海計器

- ・ 魚探単体
(JRC JFV-130)
- ・ レーダー
(FURUNO 25kW)
- ・ 操舵リモコン
(3連リモコン)

外装品

- ・ 電動ウインチ

内装品

- ・ 個室トイレ
- ・ アフトキャビン

装備品

- ・ マリンVHF
(ICOM IC-M506)

フィッシングギア

- ・ イケス
- ・ デッキウォッシャー
- ・ スパンカー

法定備品

- ・ 法定備品(一部欠品あり)

コメント

1987年進水の地場造船（石巻ヨット工作所）遊漁船52フィートの紹介です。

進水より年数経過している艇ですが、現在も釣船として稼動していますのでまだまだ元気に働いてくれる艇だと感じました。

各部の状態や写真は下記にてご覧ください。

また、オーナーさんは多忙である事から、前向きに購入を検討している方のみ見学対応させていただきますので宜しくお願いします。

(令和6年3月17日追記)

オーナー様から提供された海上走行動画を掲載しましたのでご覧ください。

外観全体

船体外側のガンネルやハルなど、全体的に年式相応に擦りキズは見られますが、使用に影響するような大きな傷みはありません。

船底塗装は令和5年10月に実施しています。

船底周り

こちらの画像は、オーナー様提供となります。

実際の船底状況は、取材時には確認出来ていません。

船底の形状、ペラ、シャフトや舵等の参考としてご確認ください。

デッキ周り

デッキは令和3年3月に再塗装していますので、色あせているところもなくとてもきれいな状態でした。

通常使用時の汚れが見られる程度です。

艇全体のFRPは厚くしっかりとしていた為、軟化している箇所は見当たりませんでした。

イケスは、底が深く大物でも対応出来る大きさがありました。

デッキに設置されているイスは、バウ前方からアフト後方まで大勢が座る事ができます。また、前後4箇所に収納庫が設置されています。

操船席周り

【操船席周り】

操船席周りの計器は、レーダー（FURUNO 25KW）、魚探（JRC）、オートパイロット（ユニカス）はそのまま付けてお渡しします。

ヤマハ製GPS魚探とフルノ製GPS魚探のロムは外してのお渡しとなります。

操船席と後方客室は繋がっていて行き来が可能です。

室内（全体）

【個室トイレ・客室】

個室トイレは十分な広さがありとてもきれいに感じました。

客室内は、約3畳程の広さがあります。

床板を外すと、床下収納と点検窓があるそうです。

エンジン周り

【エンジン周り】

ボルボ製船内機655馬力が搭載されています。

エンジンの始動や吹け上がりはスムーズで問題ないように感じました。

アワーメーターは、故障し動いていないそうです。正確な時間が把握出来ていないため不明扱いとします。

今後も釣船として稼働しますので使用時間は増えます。

整備内容（2023.10.16実施分）については、画像にて確認下さい。

オイル交換は200～300時間毎に実施。エレメントはオイル交換2回に1回の頻度で交換。

船底塗装は毎年1回10月頃に実施。

その他、必要に応じメンテナンスも実施していたそうです。

オーナーさまご提供写真

艇の採寸情報等となります。

エンジンプレートと、エンジンサービスガイドとなります。

お問い合わせ先ご質問や見学のお申込は掲載会社までご連絡ください！

[東北エリア] 蜂屋(はちや)



東北エリア全域を対応しています。お気軽にお問い合わせください。

090-8929-8893

hachiya8893@gmail.com